



**2023年度 年主題くともにつむぎだす～希望の中で～**

**0・1・2歳児12月主題「うれしいね」**  
月のねがい  
◎保育者・友だちと一緒にクリスマスを感じ、絵本やさんびかを楽しむ(0)◎思いを言葉にしようとして安心し、満たされる(0)◎外気に触れながら、冬の訪れを感じる(0)◎保育者や友だちと一緒にクリスマスを喜び、お話や賛美を楽しんで受け取る(1.2)◎保育者や友だちと喜びを言葉や身体で表す(1.2)◎風や空気の冷たさ、日の入りの早さなどを感じ、冬の訪れを感じる(1.2)

**3・4・5歳児12月主題「喜びあう」**  
月のねがい  
◎イエスが私たちのためにお生まれになったことを知り、喜ぶ(3)◎遊びを通して、友だちと心一つにする経験をする(3)◎寒さの中でも戸外で体を動かすことを喜ぶ(3)◎イエ様が私たちのためにお生まれになったことを喜び合う生活をする(4.5)◎日常生活の中でクリスマスの喜びを表現すること、分かち合うことを経験する(4.5)◎鬼ごっこやルールのあるゲーム遊びなど、寒さの中でも戸外で身体を動かすことを楽しむ(4.5)



クリスマスに心を込めて

いよいよクリスマス会本番。子どもたちは、恒例のクリスマスバイキングもあり、心も体もたくさん満たされて当日を迎えます。

給食技師のみなさんも、毎日子どもたちのかわいい歌声や大きな声でのセリフを聞きながら給食を作っているとのこと。本番も頑張ってください！ということで、バイキングのメニューも子どもたちが大好きなものを作ってくれました。行事は、担任と子どもたちだけで作り上げる物ではなく、園全体で盛り上げ支えるのです。みんなで盛り上げ、作り上げるからこそ、当日の子どもたちの頑張りに感動をもらい、小さな変化や目にはみえない成長に職員全体で喜ぶことができます。

さて、今年は久々に、0歳児から5歳児まで一体的にクリスマス会を行います。年中長児と2歳児は、イエス・キリストの生まれた日の夜までのお話を演じます。毎年みんなで役を決めて、一人ずつ台詞をもらい、家庭に持ち帰り覚えて演じます。子どもたちの中には、緊張して声が小さく震えている子もいます。私たちが想像できないくらいドキドキしているのだと思うと、子どもたちの頑張る姿をとて愛おしく感じます。今では、声も大きくなり堂々と自信を持って台詞が言えるようになり、また一つ成長した子どもたちです。間違いや失敗もあるかも知れませんが、その過程があったの本番です。どうぞ、緊張の中にも、子どもたちの堂々とした姿を最後までご覧下さい。

あつという間に今年も終わりです。そして、締めくくりの3学期を迎えます。年長児さんにとっては残りわずかな園生活です。卒園・進級まで残り4ヶ月となりました。まだまだ力不足ですが、私たち保育者も子どもたちの無限の力を信じ、励まし応援していきます。

森山



今月の聖句 「今日ダビデのまちで、あなたがたのために救い主がお生まれになりました」

ルカ2:11

先日、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに、30メートル超の巨大クリスマスツリーが飾られ、点火イベントが行われました。その前に待ちわびた来園者たちが色とりどりのペンライトを灯して、楽しそうに、嬉しそうにしている光景をニュースで見る機会がありました。平和な日本だからこそ、可能となった光景です。

片や地球の裏側では、イスラエルとパレスチナ・ガザ地区のハマス武装勢力との戦争が続いています。イスラエルの中心地エルサレムは、イスラエルが王国を持った時代に作られました。その王がダビデでした。宗教的に、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地とされる都です。ですから、エルサレムという聖地が戦場になることはなくとも、そこから数十キロ離れた地で争いが続いています。日本という平和な国に住む私たちに理解出来ない惨事です。

そのような地球上最も危険な場所で、救い主イエス・キリスト、平和の君がお生まれになられたというのは、まことに皮肉なことです。けれども、見方を変えれば、そのような苦しみや悲しみ、痛みをともなう中にも、救い主は現れるとも言えるのです。私たちは自分の身に不幸が降り注がないことを望みますが、人生はそんなに甘くはありません。しかし、そのような苦しみの中で見出した神は、私たちに力を与えます。今も世界中の人々がクリスマスを待ち望むのは、まさにそのようなことと関係しているのではないのでしょうか。

協力牧師 池田基宣



**12月の行事予定**

2日(土)	クリスマス会
8日(金)	もちつき大会
11日(月)	試走(予備日：12日)
12日(火)	絵本の会クリスマス公演
16日(土)	持久走大会
18日(月)	持久走大会 予備日
21日(木)	終園式(1号:午前保育)
28日(木)	御用納め(弁当日)

**1月の行事予定**

4日(木)	御用始め
9日(火)	始園式(1号:午前保育)
12日(金)	12・1月誕生会/試食会(た)
19日(金)	おゆうぎ会予行(弁当日)
20日(土)	役員会
27日(土)	おゆうぎ会
29日(月)	振替休日

**1号認定児 入園申込み受付開始**  
12月1日(金)  
ご紹介を宜しくお願いします!

兄弟にほほえみかけ、助けの手を差し伸べるたびに、それがクリスマスなのです。

マザー・テレサ

日々の生活の中で、どこかに例年のことですが、短い秋を楽しむと、冬が駆け足でやって来ます。園内は早くもクリスマスツリーやリースが飾られ、玄関前にはイルミネーションが灯され、皆さんも、コロナ禍で制限の多かった三年間を思いながら、年末年始を過ごされることでしょうか。

今年、トルストイの『愛のあるところに神あり』を原作とした絵本「靴屋のまるちゃん」のお話を紹介させていただきます。ある街に「まるちゃん」という名の靴屋が住んでいました。彼の住む地下室のたった一つの窓からは、往來を行き過ぎる人の足が見えました。でも人々の靴を見るだけで、それがだれなのかを分けることができませんでした。どれもまるちゃんが精魂こめて作り、修理した靴ばかりだったので、それを見れば一日一生懸命靴づくりに励み、本当は悲しみでいっぱいだったのです。

そんなある日、まるちゃんは聖書を読みました。そこにはある神さまの言葉に安らぎを覚え、毎日夢中になって読んでいた。すると、彼は夢の中でキリストの声を聞き、それが「まるちゃん、あしたは雪が降るから、お前の靴を履いてほしい」と言われた。その日、雪かきをしていて、年とったおじいさんに聞いたので、「すこしあつたまっていきませんか」と声をかけました。疲れたおじいさんは、まるちゃんの部屋で温まり、元気がなつて帰っていき、お母さんに助けました。その人は貧しく、空腹なうえ、冬なのに夏服を着て凍えそうだったので、ここでまるちゃんは、温かい部屋でパンとスープをこちそうし、自分の上着もあげました。お母さんも赤ちゃんも、まるちゃんの優しさに温まりました。その後、窓の外で、言い争いの声が聞こえました。少年がおばあさんのりんごを盗ろうとしたので、おばあさんはひどく怒っていたのです。まるちゃんはおばあさんに彼を許すように勧め、少年には、おばあさんに謝るよう勧めました。やがて二人は歩み寄り、お互いに気持を通わせて帰っていき、おじいさんが「まるちゃん、わたしがわからなかったのか。あれは、みんなわたしたちだ」と。雪かきのおじいさんも、赤ちゃんのいる貧しい母親も、争っていたおばあさんと男の子も、赤ちゃんも、争っていたおじいさんのひとなかひと、ちからのないひと、びょうきのひと、やいのないひと、なかにわたしたちはいます」と聖書を通して言われます。

クリスマスは「ギフト」そのもの。クリスマスを通して、天からの有難い「ギフト」を共に学び、この世に生かされて、イエスの降誕の真の意味を共に学び、この世に生かされて、驚きと喜びを分かち合い、過ごしていきたく思います。この注意が必要です。健康に留意され、穏やかな年末年始をお過ごしになれますようお祈りいたします。

園長

**クリスマスを迎えるにあたって**

クリスマスはイエス・キリストの誕生を祝う日です。約2千年前、ベツレヘムの小さな馬小屋でイエス・キリストは生まれました。イエスを通して、神様からのメッセージを私たち人間に示されました。それは、戦争や餓え、不当な搾取や抑圧に苦しんでいる人たち、自分自身の中で葛藤し悩んでいる人たちの希望の光となるためです。

私たち保育者は、キリスト教保育を目指す園として、いかなる人も希望の光を持ってこの世の中で生きてほしいと願い、祈ります。それは見えるものではありませんが、見えないものにこそ大事なことがあることを信じて保育をし、子どもたちにもそのクリスマスのメッセージを伝えていきたいです。

☆ひとりひとり神様に命を頂いて生きていること  
☆ひとりひとり大切な働きが与えられていること  
☆いい事も悪い事も選択できる自由が与えられていること

その自由の中、自分で考え、自分で選択し、自分で実行する時に、自己実現がなされます。その一人一人の選択した行いが神様に喜ばれる時、心も体も喜びに満たされ、希望の光として受け入れられるのです。たとえそれがほんの小さな行いだったとしてもです。

**目には見えない困っている人に捧げる?**  
キリスト教保育連盟「おはなしのこみち」より

あかりちゃんは園で貯金箱を作って持ち帰りました。園の先生が『困っている人にみんなで少しずつ捧げましょう』と言われました。あかりちゃんはお金を持っていなかったため、お家のお手伝いをしようと思いました。「お母さん、何か困っていることはない？私のお手伝いがしたいの。」「じゃあ、窓を拭いてくれる？」あかりちゃんは雑巾を持ってきてキュッキュッキュッと窓を拭きました。お母さんはきれいになった窓を見て「まあ、きれいになったね。ありがとう」そう言ってお金をくれました。あかりちゃんはそのお金を貯金箱の所に持ってきて、「神さま、今窓を拭きました。きれいになってお母さんがありがとうと言ってくれて嬉しかったです。このお金を困っている人のために使ってください」チャリンと入れました。するとお母さんもやってきて、「神さま、あかりちゃんが窓を一生懸命拭いてくれて嬉しかったです」そう言ってお金を入れました。あかりちゃんはお金が入ったこの貯金箱を、園に持って行き先生とお祈りしました。「食べるものがなくて困っている人、病気の薬がなくて困っている人に届けてください。」

副園長

